

令和5年度第2回 静岡市がん対策推進協議会会議録

- 1 日 時 令和5年8月28日（月） 19時15分～20時30分
- 2 場 所 静岡庁舎 本館3階 第一委員会室
- 3 出席者 (委員) 若林会長、前田副会長、足立委員、勝見委員、是永委員、佐々木委員、田中委員、長倉委員、星野委員、松永委員、松本委員、室井委員、吉川委員
(陪席者) 静岡市静岡歯科医師会若尾様、静岡市薬剤師会前坂様
(事務局) 山本保健衛生医療統括監、池田保健福祉長寿局局理事兼局次長兼健康福祉部長、田中保健福祉長寿局理事兼保健所長、平松保健福祉長寿局理事、杉山保健衛生医療部長、鈴木保健衛生医療課長、白石係長、渡邊主任薬剤師、原田保健予防課長、中野生活衛生課参事兼課長補佐、野中主任看護師、酒井地域包括ケア・誰もが活躍推進本部次長、北原主任保健師、宮崎健康づくり推進課長、小田課長補佐兼係長、松野課長補佐兼係長、小畑参事兼口腔保健支援センター所長、渡辺商業労政課担当課長兼課長補佐、濱平児童生徒支援課担当課長兼係長、渡邊指導主事
- 4 傍聴者 0人
- 5 次 第
 - (1) 開会
 - (2) 挨拶
 - (3) 会長・副会長の選出
 - (4) 議 題
 - ア 「第1期 静岡市がん対策推進計画」中間見直しについて
 - イ がん対策に関する施策の実施状況について
 - ウ 令和6年度以降の事業実施予定について
 - (5) 閉会
- 6 会議内容
 - (1) 開会
 - (2) 挨拶
 - ア 山本保健衛生医療統括監挨拶
 - イ 委員挨拶(足立委員) 全国健康保険協会静岡支部の足立と申します。よろしく申し上げます。

- (勝見委員) 市民委員の勝見道乃です。よろしくお願いいたします。
- (是永委員) 同じく市民委員の是永理恵と申します。よろしくお願いいたします。
- (佐々木委員) 清水薬剤師会から参りました佐々木と申します。よろしくお願いいたします。
- (田中委員) 清水歯科医師会から参りました田中佑一郎と申します。普段は清水の桜ヶ丘病院で口腔がん等を診ています。よろしくお願いいたします。
- (長倉委員) 市民委員の長倉友美と申します。初めて市民委員を務めることになりました。よろしくお願いいたします。
- (星野委員) 乳がんの患者会代表 あげぼの静岡の星野希代絵です。よろしくお願いいたします。
- (前田委員) 静岡市立静岡病院の前田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- (松永委員) 静岡商工会議所の松永と申します。よろしくお願いいたします。
- (松本委員) 静岡県看護協会の松本と申します。よろしくお願いいたします。
- (室井委員) 清水医師会の室井と申します。よろしくお願いいたします。
- (吉川委員) 静岡市静岡医師会の吉川です。よろしくお願いいたします。
- (若林委員) 静岡県立大学の若林です。よろしくお願いいたします。
- (事務局) 陪席者として、静岡市静岡歯科医師会の若尾専務理事、静岡市薬剤師会の前坂理事にお越しいただいています。よろしくお願いいたします。
- (事務局) 会議の成立を報告(15名の委員のうち、13名出席)

(3) 会長・副会長の選出

- (事務局) 「静岡市がん対策推進協議会規則」の規定により、会長、副会長は委員の互選により選出することとなっている旨を説明し、全委員に対して、互選についての意見を求めました。
- 意見がなかったため、事務局から会長に若林委員、副会長に前田委員を提案し、異議なく了承されました。

- (若林会長) 静岡県立大学の若林です。ただいま会長に選出いただきました。2年間よろしくお願いいたします。
- 協議会が発足した令和元年から会長を務めさせていただいていますが、静岡市のがん対策は少しずつ前に進んでいると思います。今後も静岡市において、より充実したがん対策ができるように協議を進めていきたいと思いますので、委員の方々の御協力をぜひよろしくお願いいたします。

(4) 議題

ア 「第1期 静岡市がん対策推進計画」中間見直しについて

- (若林会長) 本日の議題は次第のとおり3つあります。1番目が「第1期 静岡市がん対策推進計画」中間見直しについて、2番目が、がん対策に関する施策の実施状況について、3番目が令和6年度以降の事業実施予定に

ついてです。

はじめに「第1期 静岡市がん対策推進計画」中間見直しについて、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局) 資料1-1、1-2に基づき説明

(若林会長) ありがとうございます。ただいまの「第1期 静岡市がん対策推進計画」中間見直しについての事務局からの説明に対して、御質問等がありましたらお願いします。

(吉川委員) 静岡市静岡医師会の吉川です。気になった点が3つあります。

5ページの成果指標の一番上の年齢調整死亡率の70.1%は高すぎるため、10万人当たりの数だと思います。

(白石係長) 御指摘のとおり10万人当たりであるため修正いたします。

(吉川委員) 小さなことですが、9ページ、がんの部位別死亡者数、全国が図8、静岡市が図9で載っています。年の表記について、上が西暦、下が和暦のため、対応していることは少し考えればわかりますが、全資料を通じて、和暦か西暦かどちらかに統一した方がわかりやすいと思います。

(白石係長) 御指摘ありがとうございます。修正いたします。

(吉川委員) 22ページを見てください。こういう資料をいただく度に、市が膨大な仕事をこなしているな、よくこれだけやっているなと感心しますが、見直しの度に新しい課題が盛り込まれてくるため、だんだん雪だるま式に増えてきたのだと思います。時々、優先度の低いものを削除しスリム化した方がいいと感じました。どこがスリム化できるか考えてみました。例えば、異論がある方もいらっしゃるかもしれませんが、22ページのがんの予防についてです。この章では、生活改善により、がんが減ると謳って、減塩や体重管理や運動をすることでがんを減らしましょうということで随分の労力を割かれています。しかし、臨床家の感覚と乖離していると感じます。胃がんを減らすために、減塩指導をしている先生はいらっしゃいますか。多分、ピロリ菌をチェックして除菌することが、一番予防効果が高いと思います。それから肺がんについて、運動をすると肺がんが減るととれる記載もありますが、肺がんを減らすために運動療法を取り入れている方はいますか。多分いないです。禁煙させることだと思います。それから子宮頸がんについて、読み方によってはダイエットすることで子宮頸がんが減るととれる部分もありますが、これはヒトパピローマウイルスに対するワクチンを打つことが一番効果的だと思います。

そのように考えると、国立がん研究センターのホームページに載っているがんのリスクファクター全てに対応しようとして、計画されていますが、大変有効なもの一応データではあるが効果ははっきりしないものと、インパクトの違いがあります。ですから、もし仕事量を絞りたいというのであれば、例えば予防の話では、一番インパクトの強い効果が

期待される部分だけ攻めると、スリム化できると考えました。

あくまで私個人の意見ですが、言いたいのは仕事が膨大になっているので、優先順位をつけて、効果があっさりしないものは削除し、シェイプアップしたらどうかと感じたことです。

(若林会長) それ以外に何かございますか。

胃がんに関しては、国別でアメリカと韓国や日本と比較すると、アメリカにおける胃がん死亡率は5分の1以下と少ないです。食塩摂取量はアメリカが8g/日程度、韓国や日本が11g/日以上です。国内で沖縄県と秋田県を比較すると、沖縄県における胃がん死亡率は秋田県の3分の1と少ないです。食塩摂取量は沖縄県が7～8g/日、秋田県は12g/日以上です。ピロリ菌だけではなく、ピロリ菌+食塩というのは大きな2つのファクターだと思います。

実質的な食生活の中で減塩をしなさいというのは非常に大変なことであるということもわかりますし、効果が少しずつしかわからないということもあります。他方で、先生がおっしゃるピロリ菌の除菌の方が、より効果が出やすいということは事実であると思います。

そういうことをこの中で全部盛り込んで、全て同じようなトーンで言ってしまうと見る側にとってはわかりづらいので、強弱をつけたような説明をした方が、より市民にはわかりやすいと思います。

その他に何かございますか。田中先生、口腔ケア等で御意見ございましたらお願いします。

(田中委員) 前回の時には無くて、今回入れていただきまして感謝しています。

口腔ケアをすると、術後の経過も早くなるというデータの記載があり、いいと思いますが、あとは、口腔がんの検診がなかったのも、そこは他にあるのかという質問です。

歯医者さんにかかってもなかなか見つからない事があります。実際に今日も6ヶ月歯医者さんにかかっていたが、口内炎が治らないので見て欲しいと言われて診たら、完全な悪性腫瘍でリンパ節転移もしていたという患者さんであったため、口腔がん検診もありかと思いました。

(若林会長) 先ほど吉川先生がおっしゃっていたように、ピロリ菌の除菌に加え、ヒトパピローマウイルスのワクチンは、国際的にも非常に効果があるということは明らかになっています。日本の接種率の現状や今後取り組むべき課題等については、今後より明らかになると思います。

静岡市の接種率について何か情報がありましたら教えていただければと思いますし、よりそれを更新していくことが非常に重要だと思いますが、その点についてどのように考えてらっしゃるのか、説明をしていただきたいと思います。

(原田保健予防課長) 保健予防課原田です。HPVワクチンの接種率についてですが、8月19日に読売新聞にワクチンの接種率に関する記事が掲載され、そ

ここに静岡県接種率は35%と出ています。この数値をどのように算出したか県に確認し、同様の算出方法によると静岡市では27.7%です。

ただ、この接種率の算出においては、分母の対象年齢のお子さんが年齢ごとに接種をしていくため、その年代の子が合計何人接種したのかという数字をとるのが難しいです。そのため、厚生労働省では、13歳の対象者数を分母にし、11歳から16歳までで3回の接種を終えたその年度のお子さんの数を分子とする方法で接種率を算出するように示しています。

静岡市は、全国と比較しますと接種率が少し低い状況にありますので、今後も個別勧奨等を実施し、接種率の向上に努めていきたいと考えています。

(若林会長) ありがとうございます。WHOは、HPVワクチンの接種率をできれば8割から9割に上げたいと示しており、ヨーロッパの国や隣の韓国は既に7割から8割程度になっています。日本は国際的にも順番が後ろの方になっています。なるべく早く接種率を上げる対策を静岡市の中で実施するという事は、静岡市がん対策推進協議会で非常に重要な要因だと思います。

(田中理事兼保健所長) 保健所長でございます。今、若林先生がおっしゃられたように、我が国のHPVに関しては、一時期、様々な問題点等を指摘され停滞していた時期がありました。国際的に見ると、この遅れが子宮頸がんをはじめとするがんの対策の遅れということに繋がっています。このことを十分意識しつつ、具体的には皆様方のお手元の計画の36ページに今後の対策について記載をしていますが、引き続き強力にワクチン接種の啓発・推進・勧奨を進めていきますとともに、環境整備についても努めていきたいと考えています。

(若林会長) ぜひ推進をしていただければと思います。その他、1番目の中間見直しについて御意見ございましたらお願いいたします。

無いようですので、2番目の協議に移りたいと思います。

イ がん対策に関する施策の実施状況について

(若林会長) 2番目はがん対策に関する施策の実施状況について事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料2に基づき説明

(若林会長) ありがとうございます。ただいまのがん対策に対する施策の実施状況についての事務局からの説明に対して、御質問やコメントがありましたらお願いします。

私から質問ですが、本日の資料の後ろの方に2つのチラシ、がんサバイバーの交流会やがん治療と仕事の両立支援セミナーがあります。これは評価がCであった市政出前講座に該当しますか。それとも別枠でしょ

うか。

(白石係長) 市政出前講座とは別の事業です。先ほどの別紙1の一番後ろのページに㉔と㉕があります。これらは令和5年度から実施する事業で、㉔が今回お配りした交流会で、もう1つの企業向けセミナーが㉕です。

(若林会長) わかりました。ありがとうございます。その他に何かございますか。皆さま御意見がないようですので、何かありましたら後で総合的に御質問していただいて結構です。
では、次の議題に移りたいと思います。

ウ 令和6年度以降の事業実施予定について

(若林会長) 3番目、令和6年度以降の事業実施予定について事務局から説明をお願いします。

(事務局) 資料3に基づき説明

(若林会長) ただいまの令和6年度以降の事業の実施予定についての事務局からの説明に対しての御質問やコメントがありましたらお願いします。

(松永委員) 静岡商工会議所松永と申します。2点意見があります。

先ほどの中間見直しは、行政計画として見直すのはいいと思いますが、例えばがん患者や家族の方がどういうサービスがあるのかという視点に立った時に、どういったサービスが受けられるかがわかりにくいと思いました。例えば、8ページの㉑の補整具の購入費助成という事業がありますが、具体的にどういう方がどのような補整具で助成が受けられるかというような事業に繋がるのがここでは少しわかりにくいので、先ほど中間見直しの資料の施策の体系で、予防と支援というカテゴリーに分かれた中で、例えば家族が何のサービスを受けられるかあるいは患者さん本人がどういう状態だったらどのようなサービスを受けられるかというのをフローチャートのような形で作られるといいと思います。先ほど概要版を市民向けに作り、なおかつ35事業が50事業に増えたという説明がありましたが、概要版を作る時に、患者さんや家族の方の目線に立って、どういうサービスを受けられるかという視点で、より簡単に受けられるサービスがわかるような工夫をしていただければと思います。これが1点目です。

2点目は、先ほど会長が触れたセミナーについて、今日たまたま2つの事業のチラシが事務所に送られてきました。私どもの事業所の窓口に配架できますので、1部ではなく10部~20部程度いただければ、周知を図ってまいりますので、送っていただきたいと思います。

(白石係長) ありがとうございます。

まず、前半のフローチャートを活用した市民への周知というところについては、概要版を作る際に参考にさせていただきたいと思います。

また、セミナーの周知にも御協力いただけるとのこと、大変心強く思

います。チラシをお渡しいたしますのでよろしくお願ひします。

(若林会長) よろしくお願ひします。がん治療と仕事の両立に関しては、非常に大きな問題だと思ひますが、なかなかそれが表面に出てこないし、的確に情報が拡散していかないように感じます。ぜひ企業にこういうセミナーがあることをうまく情報伝達して、こういうセミナーを通じてがん治療と仕事の両立ができるような社会になるようお願ひします。

前田先生、がん教育や先日のがんサバイバー交流会の感想等ありましたらお願ひします。

(前田副会長) 先日は、がんサバイバー交流会の第1回目ということで講演させていただき、その中でもがん教育の話もさせていただきました。参加者は、がんの経験をされている方々ですが、再発防止や別のがんを防ぐということもありお話しいたしました。

先ほど指摘がありましたように、直接的にがんに関わる生活習慣もあれば、少し関係が薄い部分もあると思ひますが、やはり生活習慣が一番気を付けやすいところですので、中学校等の学校現場や他の場面でも機会があればお話ししていきたいと思ひます。

(若林会長) ありがとうございます。

(田中理事兼保健所長) 両立関係のところですが、厚労省の昨日の産業医関係の講習会でも、がんや難病その他の治療をしながら働いていけるということについては、大変力入れているということをお伺ひしています。

また、主治医、病院、各事業所と産業医も今後協力していかなければいけないということがありますので、そういった点も含めて、がんの関係機関の協力を得ながら進めていきたいと考えております。

(若林会長) ぜひよろしくお願ひします。その他に何かございますか。

(室井委員) 細かいところで申し訳ないですが、B型肝炎に関しては、この資料3で言うと、⑩B型肝炎ワクチン無料定期接種の接種率の目標を95%とされていたと思ひます。0歳児の定期接種になっていても、90%代という現状ということでしょうか。

なおかつB型肝炎の検診については、資料3の4ページ目⑮肝炎ウイルス検査で、目標が100%となっていますが、何を対象とした100%か説明をお願ひしたいです。

(若林会長) ⑮番の肝炎ウイルスの検査に関する質問です。

(原田保健予防課長) 保健予防課でございます。この100%は、活動指標名にございますが、陽性かつ受診勧奨同意者に対する受診勧奨実施率ですので、陽性で受診勧奨に同意していただいた方に対して、確実に行えていることを目標に100%という表記をしています。

(室井委員) B型肝炎の検診はどういう形で実施しているか教えていただけますか。

(若林会長) B型肝炎の検診はどのような方を対象として実施しているかということだと思ひますがいかがですか。

(原田保健予防課長) 承知していない部分がありますので、また改めて回答させていただきます。

(室井委員) 肝炎関係は、医療でも問題になるところで、掘り起こしというのは非常に問題です。潜伏しているB型肝炎やC型肝炎の患者さんが多いため、そういう方々を積極的に見つけていくという気持ちであれば、このクーポン等を使って、一生に1回はB型C型肝炎の検査を受けていただく。市民に1回ぐらいは検査を受けましょうという形でもいいです。それから0歳児の定期接種を100%にすれば、B型肝炎に関しての肝がんへの移行は避けられるだろうと思います。積極的に関わるのであればそういうことも視野に入れて実施してみてもいいでしょうか。

(若林会長) 今の室井先生の御意見も含めて、市でどのように対応するのかを後日でも結構ですので、皆さんに何らかの方法でアナウンスしていただければと思います。よろしいでしょうか。

B型肝炎C型肝炎に関しては、発生率はかなり下がってきていると思いますが、キャリアの方々が、全国で100万人~200万人いらっしゃいますし、市内でもかなりの数がいらっしゃいます。

(田中理事兼保健所長) 肝炎に関しては、本市というよりは、静岡県で医療計画に盛り込む等、注力していこうということで実施しておりますので、引き続き肝炎由来の肝がんの防止という視点を持ち、啓発を進めていきたいと考えています。

(若林会長) C型肝炎に関しては、かなり良い薬が出てきましたので、やはりキャリアであるということがわかれば、対処の仕方もずいぶん変わってきたと思います。一度検診を受けて陽性であるか、陰性であるかというのは非常に重要ながん予防対策になると思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。

(松本委員) 看護協会の松本です。1点教えてください。5ページの⑳番、がん検診の個別受診勧奨という事業でナッジを活用するとの記載があります。最近様々なところでこのナッジ理論が出ていますが、静岡市としては具体的にどのような方法で取り入れていくのかを教えてください。

(小田補佐兼係長) 健康づくり推進課です。ナッジとは肘で軽くつつくということですが、例えば価格に興味がある方については「検診が0円で受けられます」等、一番関心がありそうなところに焦点を絞った文面で勧奨通知を出しています。価格以外では「検診を受けてがんを早期発見することで生存率80%です」等を掲載しています。

(松本委員) 関心ありそうなところというのは、仕事を持っている人や年代別等で分けられているのでしょうか。

(小田補佐兼係長) 年代別や受診履歴を参考に、こちらで想定してパターン分けをして送っています。

(松本委員) ありがとうございます。

(是永委員) 市民委員の是永です。8ページの④労働相談の目標値が36回と設定されていますが、私は昨年乳がんの手術をして1年経ったところです。こういう場合に労働相談に求めることは、欲しい情報を得られるかや不安なことに応じてもらえるか等であるため、もし可能であるならば⑥のように相談者の満足度で目標値を定めていただきたいと思います。

(渡辺商業労政課担当課長兼課長補佐) 商業労政課の渡辺です。労働相談につきましては、満足度の調査も実施しています。3区で月1回ずつ実施していますが、確かに満足度の方が、しっかり相談に対応させていただいたという結果になると思いますので、そちらに活動指標名を修正させていただきたいと思います。ありがとうございます。

(若林会長) 田中委員から何かございますか。

(田中委員) 3ページの⑭番は、T w i t t e r でなくてXだと思います。

(白石係長) 御指摘のとおり、T w i t t e r の名前が変わっていますので修正いたします。

(若林会長) ありがとうございます。その他に何かございますか。

(室井委員) 5ページの⑳番サンデー健診について、これは非常に効果が出ているというか、たくさんの方が受診されて有意義な健診になっています。平日に健診を受けられない方が日曜日に健診できるということについては、非常に大きなインパクトがあると思います。これを進めていく上で、今後4回に増やし、さらに男性も受診可能な健診を検討する等、今、歯科の先生方にも協力いただいていると思いますが、婦人科の先生方に相当御協力いただいているのではないかと思います。今後回数を増やしても、先生方は大丈夫なのでしょうか。受診者が増えるのはいいですが、コンスタントに今後こういう健診を進めていくためには、ボランティア的な精神で「いつも対応いただいているから今年も。」と先生方をお願いしても限界があると思います。何か制度的にしっかりとこれを構築していく計画はおありでしょうか。

(若林会長) 大変重要な御指摘だと思いますがいかがですか。

(小田補佐兼係長) 確におっしゃるとおり、制度的にしっかりと構築していかないと限界があると思っています。今は、健診機関のご好意で、何とか増やす形でできていますが、実際に健診機関によっては、年に1回が限度ですというところもありますので、委託料も含めて今後検討していき、無理のないような制度作りをしていきたいと思っています。

(若林会長) よろしく願いいたします。よろしいでしょうか。

(室井委員) ぜひしっかりとシステムを作ってください、開業医の先生方は日曜日に出て行って本当に大変だということがありますので、病院の先生方にも御協力いただく等、継続できる方法を様々考えていただければと思います。日曜日に実施するこの健診は、非常に大事だと思いますので頑

張ってお願いしたいと思います。

(田中理事兼保健所長) 先ほどの肝炎ウイルス検査の補足ですが、制度自体は男女とも全年齢対象です。過去に1度も肝炎の検査をしたことがない方が対象となり、基本的には自己負担なしに診断と検査が受けられます。その際に陽性だった方が、その後医療機関を受診し精密検査を受けているかを本市が確認するパーセンテージが100だということで記載しています。

先ほどの説明の中で、行きつ戻りつがありましたのでここで整理いたします。ただ、件数につきましては、手元に正確なものがないため、後日ご報告いたします。

(若林会長) ありがとうございます。それ以外にございますか。

(長倉委員) 市民委員の長倉と申します。8ページの情報提供の中に希少がんの情報を入れる予定はありますか。実際に私が高分化型脂肪肉腫になり、最初の段階で悪性か良性かという判断が非常に難しかったです。そこで、様々な情報があればいいなと思います。

また、職場の方達も聞いたことがないため、お互いの情報共有をするのに、もう少し一般の方も一緒に考えてもらえればよかった経験があるため少し気になりました。

(白石係長) 今後、がんに関する情報提供や市民の方への普及啓発の中で、入れることができるか検討させていただきたいと思います。

(若林会長) 本日、委員の皆様から様々な貴重な御意見をいただきまして、皆様の御意見を可能なかぎり取り入れて事務局にて内容をさらに修正をして、最終的には大変申し訳ございませんが委員長の私にご一任いただくというような格好でまとめさせていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

事務局とよく意見交換をしまして、皆さんの意見を可能な限り反映していきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

(異議なし)

(若林会長) 御異論がないということで、事務局と修正内容を調整の上まとめ次第、最終版を静岡市に答申したいと思います。

無事議事を終えることができました。御協力ありがとうございました。

(白石係長) 最後に1点補足ですが、先ほど松永委員から計画の概要版の作成に当たって、市民にわかりやすい形にするよにとの御意見をいただいています。

この御意見は承りますが、計画とは別途、本市では患者さんやご家族向けに受けられる支援や相談窓口を1冊にまとめた「しずおかし がんガイドブック」を作成し配布しています。

新聞等でも取り上げられて、わかりやすいと御好評をいただいているものです。そちらも活用しながら、患者さんやご家族へのわかりやすい情報提供に努めていきたいと思っております。

次回の協議会は、1月末から2月に開催を予定しており、計画の中間見直しに関する最終の協議を予定しております。後日改めて日程調整の御連絡をいたしますのでよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、御報告と御案内を申し上げます。

前回の協議会でお知らせをしました第1回がんサバイバー交流会につきましては、先日無事開催し、定員20名に対し、申し込みは17名、当日は15名の方にご参加いただきました。開催後のアンケートで、「元気がもらえました」や「前向きになれました」という声をいただく等、参加者の満足度の高い良いイベントとすることができました。

また、その際前田委員には講座の講師を、そして星野委員には交流会のファシリテーターとして御協力いただきました。その他の皆様にも周知等に御協力をいただき誠にありがとうございました。

お手元にお配りしたチラシのとおり第2回を9月30日に開催いたしますので引き続き周知等に御協力をいただきますようお願いいたします。

そして、先ほど話題にもなりましたが、もう一つのチラシのがん治療と仕事の両立支援セミナーは、9月22日に開催いたします。周知等に御協力をいただきますようお願いいたします。

(5) 閉会

以上をもちまして、令和5年第2回静岡市がん対策推進協議会を閉会いたします。

(署名) 静岡市がん対策推進協議会

会長